

はじめまして。4月1

日に地域おこし協力隊として着任しました、片山智恵です。

私は高梁市生まれですが、1歳の時に総社市へ

引っ越し、総社市の中学

校を卒業後に高梁城南高校に入学しました。

城南高校に入学した頃は、まだ夢が決まっておらず、ただ目の前のことに一生懸命でした。そんなとき、ポルカ天

満屋ハピータウン内で城南高校が運営する「ジョナカフェ」で地域の皆さんと関わる機会があり、私の拙い説明や接客を温かく見守ってくださったり、テレビやラジオなどでジョナカフェが紹介された時も「ラジオを聞いて急いできたよ!」などと言ってください、とても嬉しかったのを覚えています。また、地域で活躍している人と話をしたり、活動の手伝いをする中で、私ができ



かたやま ちえ 隊員 片山 智恵

ることでまちを盛り上げ、夢を与えてくれた高梁市に恩返しをしたと思うようになりました。

私は、市内で採れる

農産物にとっても魅力を

感じています。料理を作ることや食べるのが大好きで、城南高校では食や環境について勉強してました。以前に市内の農家さんにお話を聞き、彼らが作った農産物をいただいたのですが、とても美味しく、その農産物から農家さんの愛が伝わってきました。しかし、傷があったり小さいという理由で誰にも食べられずに捨てられてしまう農産物もあるということを知り、とても悲しい気持ちになりました。そのため、私は市内の農家さんと農産物をアピールし、さらに食品ロスについて知ってもらえるような活動をしていきたいと思えます。

趣味は、ダンスや歌を歌うことです。とにかく楽しいことが大好きなので、皆さんが大好きなことも一緒に共有して盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願

いします。



備中高梁会議 2022 でジョナカフェなどでの活動内容を発表

“イマドキの小・中・高校生”④

高梁と日本・世界各地をつなぐ オンライン交流イベント

市内の小・中学校や高校では、^{アイシーティー}ICTを利用した交流が盛んに行われています。

3月9日に有漢中学校の生徒たちが鹿児島県・屋久島町役場と、3月14日には高梁小学校の児童たちがケニア駐在の国連職員と、また、3月26日には市内の小・中・高校生などが、高梁市と交流連携協定を結んでいるフランス・リヨン市のアンペール高校とそれぞれオンラインで交流しました。

参加者は、高梁から遠く離れた国内・海外各地の人と親睦を深め、自分の視野を広げるなどの良い刺激を受けていました。



ケニア駐在の国連職員・新井さつきさんは、途上国における男女格差や子どもの教育の問題について、小学生にわかるようにやさしく解説しました。



アンペール高校の生徒たち(浴衣を着た参加者も!)と日本語・フランス語・英語を使ってお互いのまちの魅力を発表し合いました。



有漢中学校の生徒たちは、世界遺産に認定されている縄文杉など、屋久島の自然や魅力について学びました。